

事業番号	15 05 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検	
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S24 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進				

### 1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒にとって、安全・安心な教育環境を確保する。</li> <li>○スクールバスを計画的に配備することにより、児童生徒の通学の安全と利便性を確保し、保護者等の送迎負担を軽減する。</li> </ul>	
これまでの取組	○特別支援学校の施設・整備の計画的な整備、スクールバスの配備など	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。</li> <li>・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から国の特別支援学校設置基準を踏まえつつ、順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。</li> <li>・スクールバス利用希望に対応できる体制を継続する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等にも引き続き積極的に取り組んでいく。</li> <li>・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針に基づき両校のZEB・デザイン基本計画の策定を進める。</li> <li>・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。</li> </ul>

### 2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の増加に対応するため、実施設計に基づき教室棟を増築</li> <li>○花田養護学校が併設されている社会福祉施設の大規模改修に必要な費用を協定書に基づき負担</li> <li>○児童生徒の安全対策を強化するため、送迎用バスに安全装置を設置するとともに、幼稚園に通う幼児に対する登園管理システム、ICTを活用した子どもの見守りタグ(GPS)等を購入</li> <li>○感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するために必要な、消毒液等の保健衛生用品やサーキュレーター等の3密対策に必要な物品を追加購入</li> </ul>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	特別支援学校整備事業で、児童生徒が安心して快適な学校生活を過ごすことができるよう、緊急に修繕が必要な箇所及び学校環境の改善のために必要な箇所について修繕・改修を実施することにより、学びの県づくりを推進

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値
1	中長期修繕・改修計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	%	—	—	—	5.9	↑	8.6
2	トイレの洋式化率	%	78.6	82.4	↑	84.6	↑	87.5
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越	27,643	92,554	757,239
	当初予算	784,971	1,046,607	899,280
	補正予算	379,219	761,195	545,726
	合計(A)	1,191,833	1,900,356	2,202,245
	うち一般財源	427,186	1,030,312	1,065,801
	決算額(B)	1,017,540	1,068,814	
職員数(人)	3.13	3.13	3.13	

設定理由	成果指標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.校舎や設備等の部分的な修繕は、計画的に着実に進める必要があるため。</li> <li>2.洋式トイレの数が不足し、必要ときに使用できない状況が生じており、和式トイレの洋式化・多目的化が必要なため。</li> </ol>
	目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.中長期修繕・改修計画において、10か年で185箇所を整備することが長期目標。そのためR4年度は、5箇所(8.6%)を目標とする。</li> <li>2.特別支援学校トイレ環境整備事業における計画において、R4年度までに洋式トイレを87.5%以上とすることが長期目標。</li> </ol>

事業番号	15 05 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
1	給与費等	49,222 千円	59,817 千円	当初 59,587 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	スクール・サポート・スタッフ配置事業	直接	特別支援学校に特別支援学校教員業務支援員(スクールサポートスタッフ)を19人分配置し、教員の負担を軽減	
2	盲・ろう学校非常勤講師等配置事業	直接	盲学校に非常勤講師2人を任用し、教育カリキュラムを充実	
3	視覚・聴覚障がい児早期教育支援事業	直接	早期支援指導員と早期教育相談員を4人ずつ配置	
4	研修等代替非常勤講師配置事業	直接	研修代替非常勤講師を2人任用	
5	特別支援学校妊娠教職員母性保護事業	直接	体育代替非常勤講師及び養護教諭非常勤講師、学級担任補助員、寄宿舎指導員宿直代替員の配置	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
2	特別支援教育推進指導事業	202,922 千円	311,094 千円	当初 188,539 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	学校管理運営事業費	直接	タブレット端末等ICT活用教育の推進、ICT環境整備、1人1台環境整備の加速、遠隔教育の推進、ICT機器の設定や操作研修等を実施するGIGAスクールサポーターを派遣、通信回線の追加整備、遠隔パソコン文字通訳システムを活用し、県立高等学校に在籍する聴覚に障がいのある生徒への授業における情報保障等を推進 〔15か月予算〕として令和3年度1月補正予算と一体的に実施)	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
3	就学奨励事業	318,608 千円	366,310 千円	当初 342,236 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	特別支援教育就学奨励費事業費	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者に対する就学奨励費の支給(国負担1/2)	

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
4	特別支援学校整備事業	168,513 千円	346,578 千円	当初 36,685 補正 519,402 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	特別支援学校施設設計画整備事業	直接	施設整備→16校、56か所で実施 トイレ→5校18か所で洋式化、5校12か所で多目的化を実施 (「15か月予算」として令和3年度1月補正予算と一体的に実施)	
2	松本・若槻養護学校施設整備事業	直接 委託	松本養護学校・若槻養護学校の施設整備	
3	松本ろう学校施設機能拡張事業	直接 委託	・松本ろう学校及び寿台養護学校松ろうキャンパスの中央廊下の校舍断熱化改修 (「15か月予算」として令和3年度1月補正予算と一体的に実施)	
4	特別支援学校教室増設事業	直接 委託	児童生徒の増加に対応するため、実施設計に基づき教室棟を増築 伊那養護学校3教室、諏訪養護学校5教室	
5	特別支援学校施設整備事業	直接 委託	花田養護学校が併設されている社会福祉施設の大規模改修に必要な費用を協定書に基づき負担	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
5	特別支援学校運営費	118,815 千円	269,969 千円	当初 272,233 補正 26,324 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	学校評議員設置事業	直接	地域住民や保護者などを学校評議員として委嘱し、学校運営や学校自己評価についての助言を得る。	
2	通学バス・公用車整備事業	直接	・経年劣化したスクールバス(3台)を更新するとともに、児童生徒数の増加に伴う定員超過や通学生の増加に対応するため、スクールバスの増車(1台)及び新規配置(2台)を実施 (「15か月予算」として令和3年度1月補正予算と一体的に実施) ・感染症重症化リスクの高い児童生徒等を対象とした、ジャンボタクシー等の利用によるスクールバスの増便 ・児童生徒の安全対策を強化するため、送迎用バスに安全装置を設置するとともに、幼稚部に通う幼児に対する登園管理システム、ICTを活用した子どもの見守りタグ(GPS)等を購入	
3	特別支援学校学習環境整備基金事業	直接	基金運用益の利息を受け入れ、基金に積み立て、運用益で図書を購入	
4	県立学校給食費等負担軽減事業	直接	食材価格高騰による保護者負担の軽減を図るため、特別支援学校における学校給食費等の値上げ相当額を支援	
5	県立学校における感染症対策等支援事業	直接	感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するために必要な、消毒液等の保健衛生用品やサーキュレーター等の3密対策に必要な物品を追加購入	